



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく!」
～逞しく拡大を続ける長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

役員研修会・来期活動計画検討会開催報告



ソチオリンピック、長崎ランタンフェスティバルと華やかな雰囲気漂う中、長崎同友会は来期の活動をより活性化するために、シーハットおおむらにて、各支部より56名の新旧役員、佐賀同友会平島事務局長、長崎同友会の4名の事務局員の参加のもと開催いたしました。

中同協事務局次長（福岡同友会事務局長）川畑義行氏より、会員数2,030名、事務局員20数名のリーダーとして福岡同友会を支え続けられている経験談を中心に、これからの同友会の方向性及び役員はどう在って欲しいか報告いただきました。「同友会は企業づくりの会である」この事が会員の共通認識であって欲しいし、再度確認して欲しいと話され私の心に響きました。自社をどの様にして良い会社にするのか？同友会の学びの

一つである例会のあり方について、例会は目的でなく手段であり、良い企業づくりを手伝い出来る例会づくりを目指して欲しい。例会の報告者は会員企業から選出し、会員にスポットライトをあて、経営体験談の報告の中から学びを深め合い、会員企業を良くする例会を目指し、運営主義で無く企業づくりに役立てる事が大切です。

企業においても、同友会においても3年後、5年後のビジョンが必要です。指針をつくり、3年後の戦略に沿った人材育成に努めるべきです。「今打った手が5年後に開花する」との思いで活動しているそうです。福岡の事例の一つとして、役員経験者が相談役、顧問として残っている支部は会員が増えている。先輩が後輩に語り継ぐのが究極の企業作り、同友会づくりだと話されました。



目次

役員研修会・来期活動計画検討会開催報告……………	1	新入会員紹介……………	14
第44回中小企業問題全国研究集会参加報告……………	2	中同協・中小企業憲章・条例推進本部会議参加報告…	16
例会報告……………	7	第43回定時総会・支部総会等案内……………	17
会員活躍……………	13	理事会報告・会員消息……………	18

役員は雰囲気を作り、支部長は方向性を出す。役員は鎌を持って参加するのでなく、鋤を持って参加し、耕して欲しいとの事でした。経営者として

の重責、役員としての重責を改めて痛感させられる研修会でした。

(文責 副代表理事 金井 政春)

中同協 第44回 中小企業問題全国研究集会 in Hiroshima 参加報告

第2分科会

新興アジアで輝く日本の中小企業

30 億人市場への戦略アプローチ

タイ・チェラロンコン大学サシン
経営大学院エグゼクティブディレクター
サシン日本センター所長

藤岡 資正 氏

長崎支部 浦上地区会 内山 洋二

東南アジアは 2015 年 ASEAN 経済共同体(ヨーロッパの EU の様な経済共同体)、AEC 発足直前、その中で日本の中小企業の取るべき道と現状等のご報告でした。ASEAN 10ヶ国は、人口13億。中国、インドを合わせると30億人の巨大市場。AEC 内の関税は0。インド・中国・韓国・日本への輸出の関税も今後0という状況。今や安価な労働力提供国から消費国へと変貌しつつある。しかしインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイはある程度成熟してきているが、と CLMV (カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム) との経済格差があり、最貧国のミャンマーとシンガポールでは61:1の差(2011年)もある。また、タイという国のポジションをととても興味深くお聞きしました。タイは特異な国家で、カンボジア・ラオス・ミャンマーを部品製拠点化にし、タイで組み立て、中国・韓国・日本そして大洋州、世界へと輸出拠点化している。近年ミャンマーの港(ダウエイ港の開発)によりインド、

アフリカも視野に入れようとしている。「日本の捉え方、東南アジアは遠い国ではなく、アジアの成長の中の日本という捉えかたが必要です。今こそタイを含む ASEAN 諸国へ進出のチャンスそして向こう三年しかない」とのお話が印象的でした。私のグループでは、実際 ASEAN に進出企業が3社、これからが1社、興味があって参加した方が私を含め2社との構成でした。アジアの方に企業理念がなかなか浸透しない、研修制度が3年で再入国が認められていない、少々壊れていても気にしない国民性等いろいろと悩みが語られました。今回の結論は「我々が今すぐすること、現地の空気を吸いに行く、日本というだけで強みですよ、日本を押し付けるのではなく、その国も文化を知ることからがスタートです」。いう結論でした。9月に是非中同協の ASEAN 視察へ参加してください、新聞紙上に詳細を近日中に載せますと、座長の畑中さんが仰っていました。



第6分科会

社員みんなが幸せを 追求できる会社をめざして

廃業宣言から始まった信頼の絆

(有) カリヤデント 取締役会長
高知同友会

刈谷 範光 氏

佐世保支部 山領 進

刈谷氏の人生は、山と共にあるようです。小学校の時の恩師が、登山のことを熱く語る人だったようで、その影響で中学・高校と山岳部に所属し、18歳の時については「自分は生涯山に生きる」と誓いを立てたそうです。ひと口に「山」と言ってもこの人が言う「山」は、日本最高峰、そして世界最高峰を指している訳ですから、そこに登るためには、1週間から長い時は数ヶ月、会社を空けなければなりません。「山に登ってくる」と言

い残し、会社を空けてしまう社長に社員がキレて、「社長の為にはよう働かん」と辞表が出されたのも、至極当然のように思えました。ところが、ここからが刈谷氏の並ではないところです。ひと晩考えた末、本心から発した言葉が「会社をたたみます」という廃業宣言でした。さすがの社員さん達も、それには面食らったようで、社員さん側から社長の「山登り」というライフワークを認めながらも、会社を続けるためにはどうすればいいかという話が沸き起こったそうです。結果としてカリヤテントは、「仕事は自らのために行う」また、「全ての仕事の工程を自分たちでやりきる」という社風が出来あがったようです。同友会に入会してからは、コンサルタントでは教えてもらう事の

なかった「心の経営」を学んだと話しておられました。経営計画発表会は、1年間の節目、社員が人前に立つ機会と考え、きちんとしたホテルをステージとして準備し開催しておられます。

印象に残ったことを最後に記しておきますが、社員とのコミュニケーションを良くすることで有効なのは、社員のプライベートについて知ることだと言われたことです。そこから、その人が何を望んでいるのかが見えてくると話しておられました。朝礼の時に社員の報告は2巡するそうです。1巡目は仕事の報告、2巡目はプライベートの報告。人の夢、人の思いを自らの尺度で判断してはいけない。聞いてみないと分からないということです。

第8分科会

**社員が最高の人生劇場を
謳歌できる企業を目指して**
地域からあてにされ続ける、
設備の総合クリニックへの挑戦

信幸プロテック（株） 代表取締役 村松 幸雄 氏
岩手同友会 代表理事
長崎支部 浦上地区会 末次 眞

第8分科会を選択したのは、テーマに大変感動して選択した次第です。

報告者は、岩手県で空調設備からメンテナンス等総合設備の企業で、資本金は1000万円、年商は約4億円、社員数31名、創業1974年で、我々建設関連の業種の、年間売上とすれば中以下ぐらいかな～と思い、軽い気持ちで、テーマにひかれて参加致しました。長崎支部より8分科会に村山さん、金井さんと私、仲間3名で参加いたしました。

私のグループは7名で、全員明るく前向きな経営者で、5時間の分科会がアツという間に終わりました。報告者の村松氏の経営指針を、始まる20分程前に拝見させていただきましたが、その一頁目の我社のビジョンを見て、びっくりいたしました。そこに描かれていたのは、設備の総合病院ビルがあり、診療科目として、①内科（圧倒的多数）－全品目予防保全（メンテナンス）②呼吸器科－一般換気・局所換気・ダクト・フィルタ設備・送風機③循環器科④全般外科（Na⑤～Na⑭を省略致します）⑮営業／管制センター－営業・案内・受

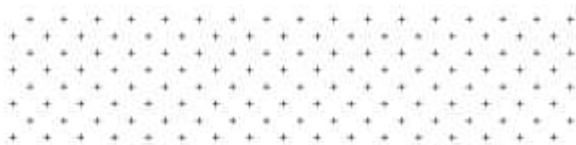


付・緊急手配・安全衛生管・防災指令等、私の職業も専門業種ですが、設備の仕事でこんなに細かく15種類に分けて、なおかつ、そのひとつひとつの診療科目の内容を4～5に分けて、社員全員がひとつの科目をマスターし、その職業の中で伸び伸びと設備という専門分野の中で、15分野に分けて週2回研修を行って、社員全員、その道のオーソリティーに育って、生きる自信を持たせ、社員が最高の人生劇場を謳歌できる機会を作ると云う事が分かりました。

グループディスカッションでは、各社の特色ある指針を話し合いました。私は20年前より、社員が個人保証をする時には、社長の許可がいるし、又、社長が個人保証する時には、幹部社員の許可がいる事を報告いたしました。愛知県の北村さんは、社員が年収1000万円になるようにみんなで目指しているとお話をされました。私も社員に朝礼でその話をし、我々も目指そうと報告いたしました。今回の此のチャンス企画した同友会ありがとう。

アベノミクス効果なのか、消費税駆け込み効果なのか、例年に無く仕事量が多い中でしたが、会社の次なる準備、方向性、対応力の強化を思い、2日間会社を留守にして参加してきました。建設労働者不足、人口減少による若者不足等が懸念される中、今後の人材確保、人材育成に不安を抱えているのが現状です。そこで、私は第8分科会「社員が最高の人生劇場を謳歌できる企業を目指して」のタイトルで岩手同友会代表理事 村松幸雄氏の報告を聞いてきました。村松氏は創業者であられ、独立創業46年目を迎えられますが職人の立場での社長業を7割の28年間続けられ、後半の3割の15年間は若手の社員さんに支えられ、共に学んだ有意義な時間でしたと、満足そうに穏やかに話されました。創業当初は当然の如く社員の出入りも激しく、又、社員募集をしても経験者が来ない状況で、大変苦勞されたようです。その様な事が数年続くうちに4人が定着してくれ、その4人を中心に毎日2時間から4時間の社内勉強会をやってから現場に出す事を続けられたそうです。その後社員が10名になった頃就業規則セミナーで知り合った人に同友会を勧められ入会されました。

入会後は労使見解、経営指針作りに取り組まれ「経営の目的」「経営とは何か」「我社の社員は何の為に会社に来て働いているのか」「何の為に経営しているのか」との疑問を持たれ、同友会の学びを社内を持ち帰り社内に委員会を作ったり、社員も一緒に同友会活動に参加され学びを共に深められます。良い会社を作り、社員を幸せにして、地域も良くなる事が経営の目的ではないかと話されました。経営者は経営責任を自覚し、社員との信頼関係を構築して経営理念、ビジョンを実践し、社員一人ひとりが自らの人生設計を生き生きと描ける会社づくりを目指したい。「社長は入り口を示して出口でニコニコ待つ」私も社員の幸せをもっともっと考え、実践できる会社作りを目指したいと強く思い帰ってきました。



今回の全研分科会は、タイトルの「社員が最高の人生劇場を謳歌できる企業を目指して」を見てすぐにエントリーしました。報告者の村松幸雄社長の作られた資料もすばらしく自社で活用できるものでした。空調設備関係の仕事を自ら現場体験してきた叩きあげの方でありお話には説得力のあるものでした。社長の病氣入院を機に社員がゼロになったが同友会入会を境に社員教育に目覚め社長が居なくても会社が回る組織にしていく。人の真似をするのが「マネジメント」と冗談を交えながらのお話。印象に残ったのが、社員の評価で大切なのが、下の部下を良く育てている社員を評価してあげる。先輩の仕事を部下に少しずつ任せ、その分先輩が新しい仕事をしていく。このような循環が先輩から部下への技術の継承となり会社が良くなっていく。また経営者が社員と関わりを増やし、社員の5年後10年後を見つめさせる事により社員一人ひとりが自らの人生設計を生き生きと描ける会社にする。その手法として村松社長は、社員が将来を描くためのチャート紙を配り考えさせる工夫をしています。グループ討論テーマは「社員一人ひとりが自らの人生設計を生き生きと描ける会社にするには、経営者として何が必要でしょうか」私の第8グループには、北は北海道から名古屋、地元広島、愛媛と全研ならではのメンバー構成でした。また皆さん何かを掴んで帰ろうという情熱が肌で感じられる方ばかりで、この分科会に入って良かったという充実感でした。懇親会も分科会別でしたので、最初は違和感がありましたがアルコールが回りはじめ同じグループメンバーと自社の事を忌憚無く話す内にこの方式も良いと感じられました。私にとって得るものが多い広島の全研でした。



第10分科会

超高齢化社会と企業経営

「命綱」としての中小企業その期待と役割

臨床社会学者 春日キスヨ 氏
(松山大学 元教授)

佐世保支部 松尾 慶一

老人介護に虐待という問題が表面化してきた中に6年前から調査を依頼されて取組まれた春日さんの解り易く、データに基いたお話を聞くことで、今まで無知だった私は反省と大きな課題を突きつけられました。まず、介護をする人と家族構成が数十年前からとすると大きく変わっている事の認識が必要です。昔は大家族で、介護は嫁の仕事でした。今は核家族で、嫁のいない独身の長男が親に面倒を見てもらい会社勤めをし食費だけ家に入れている。団塊の世代迄は、どんな男性でも(容姿や性格に問題があっても?)結婚できた幸せな時代だった。しかし、今の50歳男性で一度も結婚していない人が22%で更に増加の一途を辿っているし、その息子が親の介護をしなければならなくなって、会社を辞めるケースも増加している

そうです。要支援の介護1、介護2という一番、家族の手を取る制度が数年後に無くなるそうです。人口学的に見ても要介護の高齢化は社会問題となっています。育児問題は予定が立てられ先も見え子供の成長という楽しさに喜びがあります。介護問題は、突然やってきて、状態も様々でいつまで続くかの先も見えません。そして、口は達者な場合は苦痛が大きくなる事も多く介護をする方にとって精神的に追い込まれるケースもあるそうです。会社にとっても中堅社員が退職願を突然提出してきても対応が出来ないのではないのでしょうか。グループディスカッションでは5名の女性対男性2名で会場を見渡すと51名の女性に19名の男性でしたので、この分科会に対して男性経営者の関心が薄いことが判明しました。しかし、グループ討論テーマの5～10年後の会社・社会の変化をどう考え対処しますか?に対して相談窓口を設けたり、介護を柱にした経営指針の見直しが必要であると纏まりました。二日目の労使見解の実践を広げようというパネルディスカッションは、3名のパネラーの素晴らしい三様の熱い生き様をいただきました。

第14分科会

中小企業憲章の理念を日本と地域のビジョン、企業づくりにどう生かすか?

神奈川大学名誉教授: 大林 弘道 氏
中同協・中小企業憲章条例推進本部顧問

エイベックス(株) 代表取締役会長 加藤 明彦 氏
愛知同友会代表理事

同友会事務局 峰 圭太

2014年2月13・14日、広島全研に参加させていただきました。私は「中小企業憲章の理念を日本と地域のビジョン、企業づくりにどう生かすか」というテーマの第14分科会に参加させていただきました。神奈川大学名誉教授: 大林氏、愛知同友会代表理事加藤明彦氏両名から上記のテーマで報告をいただきましたが、「憲章=日本経済ビジョン」「条例=地域経済ビジョン」という大きな捉え方の中で中小企業がどのような取組みをすべきか、議論



が交わされました。つきつめて行くとやはり同友会が目指す「企業づくり」が大切だと言う事を確認し、経営指針の作成から企業変革支援プログラムの活用による自社分析等を行い、中小企業が経済の担い手である認識も再度確認する事ができました。困難な経営の中でも克ち進む経営、アベノミクス効果が地方に普及していない現状でも憲章、条例を推進する必要性、自社と関わる自社の経営を進化させることが大切であり、この動きが周りの企業に拡大する事で世の中も動いていく、

そしてその繋がりを各地同友会で進めていく必要があるとあらためて確認できました。

二日目は広島市長から被爆地広島からのメッセージをいただいた後、「人が育つ会社づくりこそが企業発展の道〜『人を生かす経営』(労使見解)の実践を広げよう〜」のテーマでパネルディスカッションが行われました。3名のパネリストがそれぞれ自社の取組みを交えての「人を生かす経営」の実践報告は同友会がこれまでの諸先輩が推

奨し、創り上げて来た同友会理念の体言であり、やはり実践する事でその価値が具現化するのだと再認識できました。

今回得た学びを長崎同友会でも、また事務局でも取り入れ、何のための同友会なのか、そのために事務局ができることは何なのか、常に問題意識を持ち、PDCAを実践しながら日々取り組んでいきたいと思っています。

第18分科会

ワクワクする感動は、 イキイキ働く社員が創造する

布団屋からブライダルへの「第二創業」

(株)かわの マリーエイド代表取締役
広島同友会

川野 悦生 氏

長崎支部 浦上地区会 吉澤 健

河野氏は、結婚式場を二会場運営し、年間300組の結婚式と披露宴を手掛けています。DVDを使って思うような結婚式は出来ないことに気付いてもらいます。二人は式をどのように考えていて、どうしたいのかを問い掛けます。入念な打合せを8回以上行うことで感動の結婚式が提供できると言います。

川野氏は、感動のブライダルはイキイキした社員が創造することに着目しています。社員と創る経営計画書を活用し、アイデアを出し合い70%いいと思ったら実行します。改善が必要であれば社員と再考します。フラッシュモブで盛り上げた結婚式も社員の発案でした。社員一人一人の持ち味を引き出す仕組みづくりが出来上がっていました。

川野氏は『三つのなぜ』を分析しています。

- ① 型にはまった結婚式がなぜ多いのか
- ② もう一度なぜ式を挙げたいと思うのか
- ③ 多くの人に感謝の気持ちを伝えたいのに出来ないのはなぜか。

分析の結果新郎新婦が伝えたいことを聞きだし、一組一組に合わせてスタッフ全員で盛り上げる人前結婚式へと進化していきました。

メンバーの感想をまとめると次の三点です。

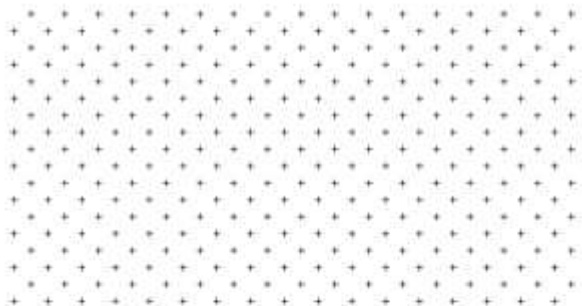
- 1、中小企業だから出来ることを追求した。
- 2、思いを共有し社員の持ち味を引出した。
- 3、夢の実現に向け経営計画書を活用し、その浸

透を全員参加型に工夫をした。

ディスカッションでは、経営指針を明確にして社員に確実に伝え、その実現に向け実行していく仕組みが重要であるとまとめました。また経営計画書の内容を拝見し、河野氏の仕組みづくりのポイントを学ぶことが出来ました。

学びは即実行です。ファイルの内容は、行動理念、方針、経営計画、営業目標、主要施策、営業展開、社員の目標、実績表、月次損益計算書、週間スケジュール等、普段ミーティングに使っている書類を何時でも確認できるよう一冊にまとめました。ミーティングが終了したら綴じる。そしてまた確認する。

経営指針書ではありませんが、『経営実行書』を手元に置きミーティングで活用するスタイルにします。全研の学びは『我社の経営実行書』として形になり全員参加型の仕組みができそうです。一歩前進です。以上参加報告といたします。



広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	2月25日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	私はなぜ弁護士を目指したのか
報 告 者	植木博路法律事務所 所長 植木 博路 会員



現在32才の若い植木弁護士は、漫然とした学生生活のあと就職の内定を辞退するという一大決心から、自分が何をしたいのかを模索しながら

猛勉強を始めて社会保険労務士、行政書士の資格を取り、最終的に司法試験にも合格して弁護士という路にたどり着きました。それを大学を卒業してから6年間で成し遂げています。その期間は私たちにはとても真似の出来ない事で感心しながら、何でそこまで出来るのかという思いでした。

弁護士になっても真面目で優しく、これまで私が思っている偉い弁護士とは違っていました。弁護士の世界も法テラスなどの台頭で競争の時代になっているとの事ですが、植木さんの相談者に対する姿勢はそれだけではなく、これまでの成立ちからだと思えます。

グループディスカッションテーマの『会社の脅



威と、備え』では、外的な脅威と内的な脅威があり、外的なものはアンテナと分析をきちんとしていけば、備えは出来ると思います。グループでは内的な脅威では、社員との関わりだと意見が多かったようです。

社長の思いを社員に伝え、理解してもらうように努力して、同じベクトルを共有する。社員の気持ちを察知する。それぞれの社員の良い所をみんなで報告し合ったり、休暇などもタイミングをみて与えたり、努力した者には成果を与えるなど、貴重な意見を聞く事が出来ました。

自分も少しでも実践しなければと思いながら、そのあと楽しい懇親会でもいい話を聞く事ができました。

(文責 池田 繁隆)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	2月24日(月) 午後6時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	経営指針書作成の意義
報 告 者	井上熱帯園(株) 取締役副社長 井上 桂樹 会員(福岡同友会)



2月例会は、報告者に井上桂樹氏、座長に小城健司氏を招いての例会です。

34歳と36歳の若い経営者で、福岡同友会の経

営労務委員会で活躍されているお二人です。井上氏は昨秋の経営フォーラムや福岡同友会のあすなろ塾、長崎同友会のがんばら塾で報告・講師をされるほどの方なので、期待感が強く、42.5%の参加率でした。井上氏は井上熱帯園(株)の三代目経営者。2002年入社時は両親とご本人の家族3名と社員5名の会社で、営業からスタート。庭師・造園業であった祖父が始めた観葉植物レンタルを、1978年父親が観葉植物レンタル業へ専業化。井上氏は若者のパワー(熱意と行動力)と独自性のある商品開発で取引先を開拓。会社への貢献に自信を抱いていた31歳、先輩社員との葛藤や10年連続の赤字である事を知らされ悩む。そんな時、同友会を知り、経営指針セミナーへ参加。経営指針を作り、その実践と浸透に邁進する。1年後黒字、2年後累積赤字を一掃することになる。その間No.2社員を含め技術力のある社員3名が一斉に辞めるなどの苦労も

あったが、結果として社内の風通しが良くなり、5年後、10年後の自社像を発表し、新たな挑戦をし続けている。

経営指針書の意義については

- ①経営者自身がぶれない座標軸を以て経営を行うため
- ②生き残る会社ではなく、勝ち残る会社にするため
- ③迷子の3条件を解消し、やるべき事を明らかにするツールであると説明があった。

3条件とは

- ・今どこにいるのか分からない
- ・どこに行ったらいいのか分からない
- ・どうやって行けばいいのか分からない

グループ討論は「経営指針書作成の必要性につい

て」行いましたが、各グループとも、作っていない人は“自分も作ろう” 作りかけの人は“早急に作り上げよう”と強く感じたようです。若き経営者から熱き思いをいただきました。井上様 有り難うございました。

(文責 福井 義憲)



大村支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 午後7時
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	『視点を変えると元気になれる』 ～薬剤師のとってもいい話～
報 告 者	(株) ビーネン ミツバチ薬局 取締役 下坂 美紀 会員



2月例会の報告は、趣向を変え、生野例会委員長と報告者の下坂さんとの対談形式ということで、内容に取り組やすい方法で行われました。処方箋の薬局を経営されてお

ますが、そのみならず、非常に勉強熱心で薬以外に、こだわり商品も販売されているそうです。又、商品のみならず、経営者として、又家族の一員として又社会人として取り巻く人達との関係においても非常にまじめで深い探究心をもっておられる方だなあという印象を受けました。

人生を7年の周期で考え、その時々体のリズムや変化、思考や心境の変化などを説明いただきました。又その周期ごとの変化が自分にも周りの人達にも不思議とあてはまることに感心いたしました。限られた時間で障りの部分のご説明でしたが、非常に興味あるお



話をいただきました。

人間関係を円滑に行うために自分への理解、ましてや関わる人達への理解は非常に難しく自分だけの一方的な思い込みになり易い。しかし、少し角度を変え、人を見て考えることができたなら更に良い相互理解が生まれるだろうと思います。下坂さんの報告であった「7年の周期の人生」に当てはめてその人を見て考えることは、相手を理解するための非常に良い一つの方法だと共感いたしました。

討論の中では、一つのテーマについてそれぞれが意見を言い合い、自分だけでは見えないものを周りは持っているし、それを理解することと視点を変えることの重要性について再確認しました。

報告を受け、人に対してや物に対して違った視点で見つめ直すことで、元気になれる。そのヒントをいただいた例会でした。

(文責 宮本 朗)

諫早支部 例会報告

日 時	2月25日(水) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	経営体験報告 「温故知新～先人の方に感謝します～」
報 告 者	小浜自動車工業(有) 専務取締役 川上 清行 会員



諫早支部2月例会は、従業員数30名という県内でも自動車整備工場としては大所帯の三代目を承継すべく奮闘されている、小浜自動車工業有限公司 専務取締役の川上清行さんに「温故知新～先人の方に感謝します～」というテーマで報告していただきました。

生まれ育った環境を素直に受け入れ、学生時代から自動車関連の学校へ進学し、卒業後は武者修行の為日産プリンス長崎販売株式会社へ入社、その後自社へ戻り専務として現在に至ります。

ブリジストンカーケア&タイヤショップの販促キャンペーンの時などは、全社員一丸となって取り組み、目標数値を大幅にオーバーし、その時のモチベーションを全社員で共有することにより、年間販売本数が約2倍になるなどの素晴らしい結

果を出されておりました。

従業員数30名、平均年齢52歳という人員構成にも自らのビジョンを持ち、先代からのものを受け継ぎ、融合させ従業員と一緒に考え進む、まさに「温故知新」な姿を報告から感じました。

今回は会員増強中という事もあり、3名の新入会員のバッジ贈呈式をはじめ、多くのオブザーバーの方にご参加いただき30名を超える例会でした、今後も盛会になるように各個人が意識しなければと思いました。

(文責 前田 義幸)



島原支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 午後7時
会 場	ホテルシーサイド島原
テ ー マ	『後継者がうつになりまして』 1年半の休職から始まった「人を活かす経営」の実践 中小企業は何でもできる！
報 告 者	(有) プライアント保険 専務取締役 橋口 久 会員 (佐世保支部)



2月の島原支部例会は、佐世保支部会員の橋口久さんに報告いただきました。

タイトルからしてご自身の後継者についての悩みかと思いきや、そうではなく、二代目たるご自身の経験談ということでした。

橋口さんは高校卒業と同時に佐世保を離れ、大学進学、アメリカ留学等を経て一旦帰郷されます。そのとき後継者の話を断り上京、日本語学校に入

社されます。28歳の若さで事務局長に就任。放任主義のオーナーのもとで経理以外全ての学校運営を取り仕切ります。アジア各国にも事業を展開、新規プロジェクトを次々と成功させます。異文化に触れる喜び、自由に腕をふるえる環境と相まって、この仕事こそ自らの天職と信じます。

そんな橋口さんには上京前から9年にも及ぶ実家からの後継者の誘いがありました。そして9年目、「久しかおらん」という熱いラブコールに3か月間悩んだ末、情熱、責任感、使命感を胸にUターンされました。1年間の損保での研修を経て後継者として入社したものの理想と現実のギャップに陥ります。担当する顧客をつけられてプレーヤーになり、やがてクレームの嵐。誰もついてこないという状況の果てに1年6か月間の休職。

ようやく復職。プレーヤーから解放されマネージャーに専念できるようになった橋口さん。思いついたのが、数年前に出席した佐世保支部会員の

村山さんの経営計画発表会。自らの思いを載せた経営計画書を作成しますが初めは誰にも相手にされません。回数を重ねていくうちに社員が次第に変化した様子を感じられたそうです。経営計画発表会では、社員が自らの発表を終えた後恍惚の表情を浮かべる様子を見て社員と会社の変化を実感されたそうです。

現在ブライアント社では、来店型店舗やカフェの展開、保険代理店では珍しい海外展開、障がい者や外国人の雇用といったダイバーシティ経営等を行っているそうです。経営計画書と経営計画発表会は、自社を業界の慣例から脱却させただけでなく、新たな発展のために活用されているようです。

今回の報告では、後継者が必ずあたる壁、社員

教育、人を活かす人間尊重の経営、経営計画書等盛りだくさんの内容のお話をしていただきました。とりわけ経営計画書については例会終了後2次会まで意見交換がなされ、会員の皆様の関心の高さを実感しました。

(文責 梅澤 浩)



佐世保支部 例会報告

日 時	2月19日(水) 午後6時30分
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ マ	私は、やめることを決めた。 ～足し算の経営から、引き算の経営へ～
報 告 者	(株)東洋軒 取締役 営業企画部 部長 狩野 源一 会員(諫早支部)



今回の例会報告者は、諫早支部にて活躍されている狩野さんです。

諫早市にて、(株)東洋軒を父親が経営、源一さんは、2代目と成るべく父を尊重し、日々経営とは何か？を考えお勤めしています。

会社業種は、主に製造業で、皿うどん・ちゃんぽん麺製造販売、それに伴いレストラン・売店(病院内)になります。その他、親会社として、南島原市にて、(株)狩野食品も運営されています。こちらの取扱商品は、ちゃんぽん、ラーメン、冷凍食品製造販売になります。現在は、東京営業所も設立され、東京と長崎を往復するという多忙な毎日です。

狩野さんは島原高校から立教大学に進学し、大手・三菱食品に入社されました、その中で実家の狩野食品に役立てる為、3年間修業され、現在に至ります。

実家に戻ると、狩野食品と東洋軒の営業企画部部長に就任され、3年間学んできた事を、参考に、経営改善に色々着手されましたが、なかなか成果が出ず、改善も中途半端な状態で過ごしていました。

もやもやしながら、日々悩んでいた所、ある1冊の本と出会います、そこで、過去に読んだ本にも、同じ様な内容が載っていた事を思いだした狩野さんは、改めて再読すると、共通点がある事に気付きます。

そこで、駄目で元々とその気付きを信じ、自社にて実践してみる事を決意します。

それが、今回のテーマでもある、やめる事を決めた、即ち逆転の発想がヒントになったになります。

具体的に、工場の事例としまして、今までは、営業先の要望全てを聞いてやって、頑張ってたと実践していたが、その日を境に、やらない・頑張らないを掲げ、営業が取ってきた仕



事の中で製造効率が悪かった商品は、全てお客様に断りを入れ、現在あるメインの商品を売り込む事にしました、そうする事により、やらない、頑張らないを此処までかと、とことん社員一丸で考えた所、製品1つ1つの質が上がり、社員のストレスも減り、生産性が良くなりました。

営業も売りに行く営業をやめ、商品を安く販売会社に提供する事より、如何にお客様に高く売れるか、高くても満足して貰えるかの工夫を共に考え試行錯誤しながら、商品開発を進めた所、その工夫が結ばれて、作り手・売り手・買い手と皆様に喜ばれる商品が出来

上がりました。

レストラン事業（ランチのみ営業）も同様に、20種類あったメニューを、5種類に減らし、1つ1つのメニューの味を良くする事を実践したところ、今まで、赤字経営だったお店が、翌月より黒字化しました。

今回の報告を聞いて、参加者の皆様も、狩野さんの考え及び実践に共感なされた方は、自社の製品（商品）を改めて見直され、何が長所か又は短所か社員皆様と議論され、不要と判断出来る事に関して、やめる決断をされてみては如何でしょうか？

（文責 片桐 孝章）

北松浦支部 例会報告

日 時	2月20日(木) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	経営と税について
報 告 者	松永いづみ税理士事務所 所長 松永 いづみ 会員 税理士法人アップパートナーズ 大橋 尚 会員



2月20日に行われた、例会では、報告テーマ「経営と税について」を松永いづみ税理士事務所 松永会員、税理士法人アップパートナーズ大橋会員より、報告いただきました。税について、経営者



にとってとても大事な一部であるため、プロフェッショナルからのお話しは、とても勉強になり身になりもっと勉強したいと思える有意義な時間になりました。時には会場から笑いがでる楽しいひとときでした。消費税が高まるなかどやって経営の負担を軽減できるか、また知ることによりうまくつかえるためにも、税と向き合う大切な時間をありがとうございました。

（文責 住徳 一洋）

五島支部 例会報告

日 時	2月18日(火) 午後7時
会 場	福江総合福祉保健センター研修室
テ ー マ	「社員教育といわれても・・・」
報 告 者	ニコット・サービス(有) 代表取締役 江口 陽一 会員(佐世保支部)

今月は佐世保の江口支部長に「社員教育といわれても・・・」ということで報告していただきました。国鉄職員時代の話から土木会社

社員時代、起業して現在に至るまでの経験談を通して、仕事で関わる人々の変遷の中で思い悩むこと、ご家族の病気のこと、いろいろな方に感謝していることを報告していただき、学ぶことができました。国鉄が民営化(JR)に変わってから余剰人員扱いされたこと、民間会社に移ってから心ない人の手の平を返したような態度、ご家族の病気が治るなら会社なんてどうでもいいと思った心情を経験され

て、現在は社員さんに対する何気ない心配りができるようになったのだなあと感じました。また、社員のモチベーションを上げるためには、ということについては、ご自身が会社員時代に失敗したことに対して当時の社長から言われた「江口くんなら仕事で取り返してくれるやろう」という言葉で俄然やる気になったというお話をしていただき、期待感だけでも社員のモチベーションは違うのだと気付かせていただきました。

江口支部長に言われた言葉の中で印象に残ったことが二つあります。一つ目は、謙虚な人ほど偉くなる[偉い人ほど謙虚である]と、スタッフの失敗に対しては、人命に関わること以外は大概許す、と話されていたこと



です。やはり人は、特に経営者は謙虚な態度・気持ちで、懐深く構えていたほうが良いのだなあと感じました。

今後の目標として、社員で運動会がしたいと話されておりましたが、社員が増えると経営的な苦勞も、気遣いも増えると思いますのでお体に気を付けて、今後益々のご活躍を期待しております。

最後に五島支部をご支援いただき誠にありがとうございました。五島支部としまして独り立ちできるよう勉強して参りますので、今後共ご支援、ご協力をよろしくお願いいたし
(文責 勝本 政裕)



青年経営者会 例会報告

日 時	2月19日(水) 午後7時
会 場	同友会事務局
テ マ	土業の活用法
報 告 者	北川行政書士・FP事務所 代表者 北川 亮 会員



2月例会は、北川行政書士・FP事務所の代表である、北川 亮会員に「土業の活用法」というテーマで報告をしていただきました。

内容としては、行政書士の仕事を①補助金・助成金 ②国・県・市町村の入札資格審査申請(建設・コンサル・物品・業務委託) ③売掛金回収・契約書作成 ④土業の区別・棲み分けの4項目に分けて説明していただきました。

補助金や入札といった普段耳にしている言葉や活用していることであっても、補助金や助成金を活用する際はメリットデメリットがあることや、入札に参加する際の注意事項、売掛金を回収する手段としての一連の流れなど、改めて聞いてみると知っていたつもりでも知らなかったことが多くあり、全員真剣に報告に耳を傾けていました。

また、行政書士の仕事内容を初めて知ることができる機会になったということもあり、報告後にグループディスカッションを行う形式ではなく、質疑応答形式を取り、補助金を活用できる業種や幅はいったいどこからどこまでなのか、行政書士の扱う仕事の範囲はどこまでかといったことや、売掛金回収や契約書を作成するときの注意点はどのようなところにあるのかなど、より具体的な質問や意見も飛び交っていたことも印象的でした。

また、最新の補助金情報のメール配信や申請書等の提出後のサポートなどお客様のために独自のサービスをしていることなど北村さんの人柄を垣間見ることができた報告となりました。今回限られた時間の中で複数の項目の報告をしていただき、なかなか聞きたいことも聞けなかった会員もあり、是非またしていただきたいといった声や、一つの項目をもっと掘り下げて聞いてみたいといった感想が多くみられました。

青年経営者会には士業に携わる会員が数名在籍していることもあり、今後例会を企画する上で報告だけでなく勉強会というような形

式で開催し、一つ一つ勉強していけるような事もできるのではないかといった可能性を秘めた大変有意義な例会となりました。

(文責 吉川 憂也)



会員活躍

諫早市の酒造会社「杵の川」が市の特産品伊木力かんを醸造した「伊木力かん」を醸造した。県内の酒造でも有名な伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。

伊木力かんでほろ酔い

諫早の酒造会社「杵の川」

リキュール共同開発



伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。伊木力かんは、県内各地で有名な酒造会社「杵の川」が醸造している。

山田錦を試験栽培

諫早市は、山田錦の試験栽培を始めた。山田錦は、日本酒の原料米として知られる。山田錦の試験栽培は、山田錦の生産者や酒造会社と協力して行われる。山田錦の試験栽培は、山田錦の生産者や酒造会社と協力して行われる。山田錦の試験栽培は、山田錦の生産者や酒造会社と協力して行われる。

長崎新聞
2014年3月5日

諫早支部(株)杵の川 瀬頭 信介 会員

オリジナルスマートフォンカバー製作します!!



TIC

Toin Innovation Communicator



東洋印刷所

〒850-0862 長崎市出島町 15-15

TEL:095(821)1002 FAX:095(820)1957

http://www.toyouinsatsu.com E-mail:toin@orange.ocn.ne.jp

山口 善也 会員(長崎支部 浦上地区会)

V・ファーレン長崎



V-FALLEN
NAGASAKI

応援マツト

ダスキン栄進 電話 823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

新入会員の皆さんです<3月入会>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎 (浦上地区会)	
氏 名	塩見 信行	
企 業 名	創作料理かりーによ	
役 職 名	店主	
企 業 住 所	〒852-8021 長崎市城山町2-9	
T E L	095-865-9311 F A X 095-865-9311	
業 種	飲食業	
企 業 P R	スペイン料理をベースとして創作料理とお酒を低価格で提供し、色々な会に柔軟に対応しています。	
スポンサー	飛田 精一	

支 部 名	長崎 (浦上地区会)	
氏 名	中尾 陽一郎	
企 業 名	学校法人平成国際学園 長崎情報ビジネス専門学校	
役 職 名	教務部次長	
企 業 住 所	〒850-0035 長崎市元船町2番1号	
T E L	095-823-1199 F A X 095-823-0530	
業 種	専門学校	
スポンサー	永池 泰典	

支 部 名	長崎 (出島地区会)	
氏 名	佐々田 剛史	
企 業 名	オフィスドゥー	
役 職 名	代表	
企 業 住 所	〒850-0001 長崎市西山1-21-5	
T E L	095-823-6049 F A X	
業 種	マジシャン	
企 業 P R	2001年よりプロマジシャンとして活動し長崎を拠点に九州全般で活躍しており結婚披露宴や各種パーティー、学園祭や忘・新年会、誕生会や子ども会の行事など様々な場面でマジックをしています。 また、マジシャンの技術を活かして子どもたちを対象に礼儀作法や話し方、立ち振る舞いを身につけることができるマジックマナー教室を開設いたします。	
スポンサー	山口 憲男	

支 部 名	長崎 (出島地区会)	
氏 名	萩田 実	
企 業 名	(株)サンミシェル	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0954 長崎市新戸町1丁目31-17-1F	
T E L	095-878-3008 F A X 095-801-6066	
業 種	洋菓子の製造・販売	
企 業 P R	長崎県産の果実や、材料を使用したケーキや独創的なお菓子を提供しています。ギフトや物産展等で全国に商品をお届けしています。	
スポンサー	山口 憲男	

支 部 名	大村	
氏 名	時 忠之	
企 業 名	(株)大幸企画	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒856-0023 大村市上諏訪町898番地	
T E L	0957-53-0295 F A X 0959-54-3242	
業 種	飲食業	
企 業 P R	長崎県下、大村諫早両方を中心に飲食店舗を経営致しております。	
スポンサー	北村 貴寿	

支 部 名	大村	
氏 名	中村 光力	
企 業 名	(株)ひかり企画	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒856-0811 大村市原口町593-30	
T E L	0957-42-5328 F A X 0957-42-5329	
業 種	不動産管理・販売賃貸業	
企 業 P R	大村市を中心に不動産管理、賃貸、売買仲介を主な業務内容としています。親切、信頼信用をモットーにお客様のこだわりを満す、物件を紹介させて頂きます。	
スポンサー	益田 智行	

支 部 名	島 原		
氏 名	あらき ひろし 荒木 博		
企 業 名	(株) 荒木工務店		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-1403 島原市有明町湯江丙 1024-2		
T E L	0957-68-3447	F A X	0957-68-3477
業 種	建設・設計業		
企 業 P R	創業 45 年住宅建築をメインに施工・設計業務を行っております。施工では木造建築を主に、設計では一級建築士事務所「昭和（ひより）工房」として陽差しが降りそそぐ家族が和らげる住宅造りを目指しております。		
スポンサー	上田 五月男		



支 部 名	佐世保		
氏 名	つるの やすひさ 鶴野 靖久		
企 業 名	つるの整骨院		
役 職 名	院長		
企 業 住 所	〒857-1152 佐世保市黒髪町 14-25 バナハイツ 102		
T E L	0956-34-2187	F A X	0956-34-2198
業 種	整骨業・鍼灸業		
企 業 P R	整骨・鍼灸の両方のいい所を融合させた治療で、患者様のお体のケアに当たらせていただきます。		
スポンサー	永吉 秀行		



支 部 名	島 原		
氏 名	かたやま よしのり 片山 芳紀		
企 業 名	島原衛生（有）		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒855-0851 島原市萩原三丁目 5820		
T E L	0957-62-3808	F A X	0957-62-7729
業 種	清掃業		
スポンサー	上田 五月男		



支 部 名	佐世保支部		
氏 名	わたらい ゆうじ 渡会 祐二		
企 業 名	徳勝・わたらい法律事務所		
役 職 名	共同代表		
企 業 住 所	〒857-0871 佐世保市本島町 2-5 興徳ビル佐世保 2F		
T E L	0956-22-7981	F A X	0956-22-7983
業 種	弁護士業		
スポンサー	松尾 慶一		



支 部 名	島 原		
氏 名	はらかわ としろう 原川 俊郎		
企 業 名	(有) 南高葬儀社		
役 職 名			
企 業 住 所	〒859-1504 南島原市深江町丁 3949		
T E L	0957-72-2236	F A X	0957-72-6508
業 種	葬祭業		
企 業 P R	南島原市で最も歴史ある葬祭業者としてこれからもまごころを込めたお葬式を提供します。		
スポンサー	横田 耕詞		



支 部 名	五 島		
氏 名	はたなか しげのり 畑中 重徳		
企 業 名	(有) 観光ビルはたなか		
役 職 名	専務		
企 業 住 所	〒853-0002 五島市中央町 7 番地 20		
T E L	0959-72-3346	F A X	0959-72-4482
業 種	菓子製造販売・イベントホール		
企 業 P R	弊社は、大正元年に「はたなか饅頭店」として創業しました。現在は観光銘菓「ちゃんこ」「鬼岳饅頭」をはじめとした和菓子やデコレーションケーキやプランデケーキなどの洋菓子を昔ながらの伝統の技術で製造販売している卸菓子店は、はたなか、模索のシルキーグーイング、イベントホールのラ・アンソレイエハタナカ、美容マルゼンを業務としています。これからも地域の皆様とお客様の明るい豊かな生活と文化の向上に貢献する企業をめざしていきます。		
スポンサー	勝本 攻裕		



支 部 名	佐世保		
氏 名	しもつうら しゅもん 下津浦 朱門		
企 業 名	(株) させぼパレスホテル		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0027 佐世保市谷郷町 4-14		
T E L	0956-22-1310	F A X	0956-22-1537
業 種	旅館業、不動産		
スポンサー	松尾 慶一		



折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

支 部 名	五島	
氏 名	谷川 喜一	
企 業 名	五島トラック建(有)	
役 職 名	取締役	
企 業 住 所	〒853-0601 五島市三井楽町浜ノ畔 1398-1	
T E L	0959-84-2075	
F A X	0959-84-2845	
業 種	運送業・建設業	
企 業 P R	少人数でアットホームな雰囲気です。お見聞から気楽にお付き合いをお願いします。	
スポンサー	増山 勲次	

<会員交代>

支 部 名	島原	
氏 名	永吉 杏奈	
企 業 名	(有) 雲仙有機	
役 職 名	経理部長	
企 業 住 所	〒854-0702 雲仙市南串山町乙 594	
T E L	0957-88-2264	
F A X	0957-88-2231	
業 種		
スポンサー		

中同協 中小企業憲章・条例推進本部会議参加報告

報告者 中同協政策委員(長崎支部 出島地区会) 西尾 廣幸

2月3日、中同協中小企業憲章・条例推進本部会議に出席しましたので報告します。

1. 勤労中同協会長から挨拶があり、中小企業憲章の法制化について経過報告があり、政権交替にともない法制化が難しい状況となっているが同友会としては法制化に向けた活動を継続していく方針であるとのことであった。

2. 前回会議からの経過報告と中小企業憲章・条例推進運動の取り組み推進状況報告がありました。①中小企業庁金融課との懇談では経営者保証をはずす可能性が大幅に増える②6月3日の憲章条例推進月間・キックオフ集会③中小企業憲章・条例ハンドブックの改訂版発行などについて報告がありました。

3. 振興条例の報告が大阪・香川・沖縄同友会からありました。各同友会とも積極的な活動がなされているようです。その後、6グループに分かれてグループ討議を実施しました。テーマは①わが同友会の中小企業振興基本条例の制定・見直しと地域づくりの推進②中小企業振興基本条例に取り組むに当たっての困難・壁について討議しました。各同友会の取り組み状況等を聞くことができ、長

崎県同友会の条例制定の参考としたいと思います。

4. 6月の「中小企業憲章・条例推進月間」をどのように成功させるか。成功のための申し入れ書や「日本経済ビジョン」の追加意見についての報告がありました。

5. 中小企業振興基本条例の制定・活用・見直し運動の交流と取り組み強化について、各同友会から発表がありました。長崎県同友会からは、①25年12月19日に大村市中小企業振興条例が制定されたこと、また、振興会議規則案が作成されていること、この会議には同友会も関わり参加することとなっていること。②27年2月には長崎県も条例を制定する予定になっていること、そのために県との意見交換会等を実施していることを報告しました。

6. 第44回全研、第46回総会の関連分科会及び第2回「東日本震災復興シンポジウム」についての計画発表がありました。

以上の会議全般について、大林氏からコメントがありました。

最後に大橋氏のまとめがあり閉会しました。今回の会議に参加し、長崎県の振興基本条例制定の参考として行きたいと思います。

委員会活動一覧

(2月1日～3月3日)

経営・労務委員会

2月16日(日曜日)

参加者: 4名

内容: 第3回経営指針策定セミナーの最終打合せと準備。

情報広報委員会

2月24日(月曜日)

参加者: 3名

内容: 次年度同友会 HP のリニューアルと広報誌について協議。

仲間づくり委員会

3月3日(月曜日)

参加者: 7名

内容: 2月の増強デーについての結果・反省と来期に向けての協議。

第43回 定時総会案内

記念講演テーマ

4月19日(土)

「今こそ、中小企業が切り拓く！」
～デフレ時代、老舗企業の取った戦力と実践～

講師 中小企業家同友会全国協議会 副会長
三重県中小企業家同友会 相談役

(株)宮崎本店

代表取締役 宮崎 由至 氏

会場 ホテルニュー長崎

会費 2,000円

総会 : 15時～

記念講演 : 16時～

<経歴>

1947年生まれ、キッコーマン醤油を経て、(株)宮崎本店に入社。1987年6代目社長に就任。清酒業界初の週休二日制の導入を始め、ISOの取得、社内社氏(とうじ)の育成等で、ユニークな経営を展開。三重県知事から選ばれた「三重県経営戦略会議」のメンバー10人のひとり。

<企業概要>

事業内容 酒類並びに食品製造及び販売(清酒宮の雪、亀甲宮焼酎)
資本金 6,750万円 社員数 66名

<講演要旨>

中小企業の時代」に目指すべき企業づくりの運動は見えていますか？

(株)宮崎本店は創業165年を誇る清酒メーカーで、宮崎社長は6代目。常に進化する時代に対応するために時代認識を明確に持ち、自社の強みを捉えて付加価値を生み出しています。そして、戦略を立てると共に、強みを生かした出口連携を図っています。まさに、現代に対応した企業づくりをされているのです。言葉にするのは簡単ですが、実践することは容易ではありません。

(株)宮崎本店は見えている未来から目を背けずに実践を繰り返し、国内有数の優良酒造になっています。同友会理念を根拠に持ち、地域の未来を担う中小企業としての企業づくりを実践している宮崎さんの講演を聴き、実践のヒントを掴んで自社に持ち帰り、長崎県を元気にしていきたいと思います！！

4月支部総会・例会案内

●長崎支部

日時 4月26日(土) 午後5時
会場 ホテルニュータンダ
内容 支部・地区会総会

●大村支部

日時 4月25日(金) 午後6時30分
会場 長崎インターナショナルホテル
内容 支部総会

●諫早支部

日時 4月22日(火) 午後6時30分
会場 諫早観光ホテル 道具屋
内容 今年度の報告と次年度の計画を発表し、新たな人事にて再スタートを切ります。2期目となった選任体制を会員全員でバックアップしていきましょう。

●島原支部

日時 4月23日(水) 午後7時
会場 シーサイド島原
内容 例年5月に行われていた支部総会を、今年は4月に行います。今回は報告はなく純粋に支部の総会となりますが、支部としての重要な節目となる会議ですので皆さん参加をお願いします。

●佐世保支部

日時 4月26日(土) 午後7時
会場 九十九島観光ホテル(予定)
内容 支部総会

●北松浦支部

日時 4月24日(木) 午後7時
会場 サンパーク吉井
内容 総会後に2月例会「経営と税について」のpart2を開催予定

●五島支部

日時 4月19日(土) 午後3時
会場 ホテルニュー長崎(定時総会を充当)
内容 開催予定なし

●青年経営者会

日時 4月17日(木) 午後7時
会場 同友会事務局
内容 笹田会員の報告

理事会報告

2014年3月理事会 議事録 抜粋

2014年3月6日(木) 19:00 つくば倶楽部

出席(敬称略) 11名 欠席(敬称略) 10名

オブザーバー 1名

開会挨拶—松尾代表理事

習慣が身に付くということは素晴らしい。握手タイムも当然のようになってきました。新しいことを取り入れる意味でも今回は新旧理事会の開催ということで新鮮な理事会かと思えます。今日をきっかけに更なる連携を強固し進めて行きましょう。3月1・2日には経営指針策定セミナーも開催され新しい理念の作り方がありました。あらためて同友会の奥深さを学ぶこともできました。本日はよろしくお願いいたします。

※その後来期理事予定者から各自挨拶あり

仲間づくりについて

- 1) 15名の入会、4名の退会、1名の交代、2名の取下げを承認
- 2) 山領委員長総括—2月5日増強デー褒賞金贈呈
1年の総括ですが、反省としては退会防止に対して策を講じることができなかった。拡大、勧誘の「増」はある程度進め進める事ができたが「強」の部分はなかなか難しい。各支部退会防止に特化した委員会等が必要のような気がする。増強デーも試行錯誤しながら支部の色合いを出せてよかったと思う。来期も増強デーの予定があるので、増強デーをクロージングの日と捉えて、会員に関しては経費と時間がかかるものではあるが、協力をお願いします。

※2月5日増強デーの1位支部、五島支部に褒賞金の贈呈(松尾代表より)

報告・連絡事項

- ・例会について(更なる例会の充実を目指して)
—尾崎例会委員長
4月の各支部例会は総会に充当する支部が多い。3月に関しても他支部からの報告者が多く見受けられる。しかしながら会員数は増えても全体的に出席率が40%前後という数字は変わらない。入会した後の声掛け等も必要。鳥原等は班制をしきなど対策を講じている。せっかく入会したのに退会になるのはもったいないので例会参加を促す形で出席率を向上させる策を委員会で検討していきたい。
- ・財務事務所との意見交換会報告
富川支部長・松田相談役・事務局田口より参加報告。消費増税に伴い便乗値上げがないようにGメンを配置、ものづくり補助金等に関する説明あり。今後は年に2回のペースで意見交換会を開催する方向で検討。
- ・個人保証ガイドライン説明会報告
2月1日よりガイドラインの運用開始。契約段階、契約途中、経営者の個人保証を外すための条件等があるので詳細をe_doyu掲示板に掲載予定(事務局峰)
- ・役員研修会・来期活動計画検討会報告
来期を2月28日(土)で開催を検討—理事会で承認
金井副代表より総括—今年の反省を踏まえて来期に関しては前倒しのスケジュール等を組み、委員会の引き継ぎ等も行えるようにする。今年は役員としての心構えを中心にした内容だった

が、同友会の原点である「企業づくり」の大切さを確認できた。役員は「鍵」を持つのではなく「鉄」を持つべき。育ったことを刈り取るのではなく、根をもって開拓することが大事だということも確認できた。今の活動が5年後、先の時代に開花出来るように頑張りましょう。

- ・HPコンペ開催結果について
コンペの結果、情報広報委員会として長崎支部出島地区会：藤村会員を推薦。来期の予算決定後に正式依頼。
- ・事務局の件
3月から山田局長が復帰。当面は内勤をメインとし、局長職を一端解く。様子をみて、問題なく勤務可能なら体制に関して随時検討して行く。

決定事項

- ・15名の入会、1名の交代、4名の退会、2名の取り下げを承認
- ・定時総会の会費を2,000円とすることを承認
- ・定時総会式次第に関して、議案を修正することで承認
- ・定時総会記念講演時間、内容、謝礼に関して承認
- ・定時総会来賓リストを承認
- ・定時総会参加目標を200名とすることを承認
- ・二次会に関してはナイトマップを作成する
- ※県の三大行事(総会・経営フォーラム・賀詞交歓会)に関して会員は最低でもどれか一つへの参加をお願いします。
- ・2014年度2月理事会を2月5日、3月理事会を3月3日、4月三役会を3月27日とすることを承認
- ・県版活動の手引き及び名簿作成に関して、三役会案(各支部の見解をもとに、基本的に名簿、活動の手引き一体版を作成する方向。また年間予定表も付ける方向。掲載内容に関して、写真、携帯電話番号も希望者のみ掲載。アンケートをとり、掲載希望の返事をいただいた会員のみ掲載する。返事がない場合は議案書掲載内容のみ掲載)を承認
- ・広報誌編集担当を情報広報委員会から推薦の長崎支部浦上地区会：山口会員とすることを承認
- ・規約変更について(慶弔費)、花代の内訳、金額、支部負担、対象の範囲等の協議がなされたため、提案内容に関しては継続審議。計報の告知に関してFAXでの告知を該当支部及び理事まで行うことに関しては承認
- ・五島支部交通費支給に関して、五島支部からの提案内容(委員会等参加翌月に支払う)ことを承認
- ・全国大会開催に関して、情報を集める等、検討する委員会を設置することを承認
- ・web会議に関して、備品購入に関する内容を承認

閉会挨拶—金井副代表理事

今回は新旧理事会、年度末ということもあり、盛り上がった理事会でした。中間協のデータを見ると、長崎は66名増加で全国第5位、率は第1位となっています。この勢いで今後もよろしくお願いします。

※次回日程—2014年4月3日(木) 19時— つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (3月7日現在)

	長 崎 (浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	235	125	110	65	80	60	120	40	600
期首	186	101	85	48	51	34	86	30	456
現在	206	118	88	54	59	41	99	33	517

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支 部・地区会名
(株) 清水鋼材商会	清水 和 彦	長 崎・浦 上
(株) モナミ	馬 場 洋	長 崎・浦 上
(株) みやび園	太 田 統	長 崎・出 島
(有) 慶華園	楊 爾 賢	長 崎・出 島